

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	市長公室		
	課名	企画政策課		
	係名	大学誘致推進室		
	記入者		電話(内線)	248

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称		医療福祉系大学誘致推進事業				(3) 事業の 優先度		A		
(4) 総合計画での位置づけ						(6) 事業主体		市					
① 事業の区分		主要事業						(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質		一般事業費(ソフト事業)		
② 施策コード		11305		(総合計画掲載ページ 52 ページ)					会計区分		一般会計		
基本目標(政策)		1ともに支えあい、安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)				財源区分			市単独				
基本施策		1-1健康で安心して暮らせる保健福祉の充実(健康・医療)				予算科目			款 2 項 1 目 7				
施策		③地域医療体制の充実				予算書上の			医療福祉系大学誘致推進事業費				
施策内容		5医療福祉系大学の誘致				事業名称			(予算書 43 ページに掲載)				
(5) 事業期間		開始 平成 28 年 4 月から						(8) 事務分類		自治事務			
		終了 平成 年 月まで (力年)						根拠法令					

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象（だれに対して・何に対して行うのか）	(3) めざす姿（意図・どのような状態になるのか）
医療福祉系大学	大学を誘致することにより、女性の就労者が多い看護師等、地域医療・福祉の担い手となる人材を育成し、女性の雇用機会の増加と医療・福祉施設の従事者不足を解決するとともに、若者が集まる拠点づくりを進めることによって地域活性化を図る。
(2) 手段（事業内容・どのようなことを行うのか）	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
各種調査を実施し、その結果を分析・検証することにより、大学の在り方や規模、候補地の選定などの検討を進める。 ・近隣の高校生の医療福祉系大学への進学ニーズや、就業先となる近隣の医療福祉系施設における看護師等の雇用ニーズを把握するためのアンケート調査の実施 ・文部科学省が定める大学設置基準等の条件を明確にするための調査や、大学誘致に精通したアドバイザーによる支援 ・専門的な視点を持った有識者による会議の設置、運営 ・基本構想の策定	
(5) 事業をとりまく環境の変化（社会環境、市民ニーズ等）や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
「医療福祉系大学の誘致」については、医療や福祉を支える人材を育成し、地域医療体制の充実を目指すとともに、地域活性化や定住促進などを推進するための重要な施策として、平成28年3月に策定した「第5次結城市総合計画後期基本計画」及び「結城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けたところである。	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映						
実施計画												
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）						
事業内容		27 年度		28 年度		29 年度		30 年度		31 年度		
(1) 事務事業費の コスト	事業費	報償費(委員謝礼)		450								
		旅費		61								
		需用費		72								
		委託料(基本構想)										
	合計				583							
	財源	国庫支出金 (千円)										
県支出金 (千円)												
地方債 (千円)												
その他特定財源 (千円)												
一般財源 (千円)				583								
合計 (千円)				583								
補助・起債制度名												

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称			単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
指標名	専門部署の設置	目標値	設置		設置	設置完了	設置完了	
		実績(見込)値			設置			
	誘致推進委員会の開催	目標値	回		3	3		
		実績(見込)値			3			
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）								
指標名	基本構想の策定	目標値			検討	策定		
		実績(見込)値			検討	策定		
		達成率		%	%			
		目標値						
		実績(見込)値						
		達成率		%	%			

5. 事業評価

(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。

(2) 項目別評価

評価項目・客観的評価				理由
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	
	手段の妥当性	A	妥当である	
効率性	コスト効率 人員効率	A	改善の余地はない	
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	
有効性	成果の向上			
進捗度	事業の進捗			

(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。

本市では、将来の人口減少を最小限に止めるため、「結城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、その中で「雇用基盤の充実」及び「若者が行き交うまちづくりの推進」を図るための取組みとして、「医療福祉系大学の誘致」を掲げた。今後は、アンケート調査の結果を分析し、検証することにより、大学の在り方や規模、候補地の選定などの検討を進める。また、誘致に当たっては、敷地や建物の無償貸与や無償譲渡などの支援、校舎建設費に対する補助など、多額の財政負担が必要となることも考えられる。

(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？

誘致候補地を検討する中で、大学側から敷地や校舎建設費に対する支援・補助の要請等があった場合には、相当額の財政負担が必要になると考えられるので、財政計画を立てる必要が生じる。ほかにもさまざまな個別の課題を整理していく必要があるため、基本構想を策定する。

6. 事業の方向性判断

評価主体	28年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	拡充 (人・モノ・カネ等の拡充)	注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	拡充 (人・モノ・カネ等の拡充)	医療福祉系大学への進学ニーズや、看護師等の雇用ニーズを的確に把握するとともに、有識者等の意見を参考にしながら誘致を推進していく。
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおり。